



「山里の春」©中島潔

第 58 回特別企画展

中島 潔 絵画展

NAKASHIMA KIYOSHI an Art Exhibition

新しい風 ^{うた} 四季の詩

開催のお知らせ

壹岐市立 一支国博物館

中島 潔 絵画展 新しい風 四季の詩



一支国博物館では、来たる令和4年2月4日（金）より3月27日（日）まで、第58回特別企画展「中島潔絵画展 新しい風 —四季の詩（うた）—」を開催いたします。

中島潔は、佐賀県唐津市出身の画家です。1943年に中国東北部で生まれ、1歳で両親の出身地、佐賀県へ戻ります。18歳まで故郷佐賀で過ごしますが、母の死を機に上京。東京ではイラストレーター、アートディレクターとして多彩な才能を発揮し、71年の渡仏後、本格的に画家を志しました。

82年、NHKテレビ「みんなのうた」のイメージ画が認められ、全国的に注目を浴びます。今に至るまで懐かしい故郷の情景を郷愁と愛惜を感じさせる繊細な筆致で描き、多くの童画を発表してきました。その作風が生命の流れを思わせる優しい風が吹き抜けるようだと言われ、「風の画家」とも呼ばれています。

本展では、清水寺襖絵制作後の大病と東日本大震災を経て生まれた、新シリーズ「新しい風」の作品を、ふるさとの四季の移ろいに沿って展示いたします。約40点を、すべて原画でご覧ください。

つきましては、別紙のとおり、事業概要をお知らせいたしますので、感染症拡大の状況が落ち着いた折には、ぜひご来場をご検討くださいますよう、お待ち申し上げます。皆様、くれぐれもご自愛の上、お過ごしくださいませ。

中島潔 略歴

- 1943年 4月生まれ。佐賀県出身。
- 1961年 佐賀県立唐津西高校卒業後上京。独学で絵の勉強を続ける。
- 1964年 広告会社に就職。アートディレクターとして数々の賞を受賞。
- 1971年 フランス・パリの美術学校で学ぶ。
- 1982年 NHK「みんなのうた」のイメージ画を手がける。
都内百貨店で初の個展を開く。
- 1987年 ボローニャ国際児童図書展で絵本「木霊みょうと」がグラフィック賞受賞。
- 1989年 ワシントン州百年祭を記念して、兵庫県よりワシントン州に「かのひとはるか」を寄贈。
- 1990年 北京の故宮で海外展開催。
- 1998年 画業30年記念で「源氏物語54帖」完成。
- 1999年 NHKで「郷愁・中島潔の世界」（春夏秋冬四部作）を制作・放送。
- 2001年7月 NHKドキュメンタリー番組「中島潔が描く金子みすゞの世界」制作・放送。
8月 NHK「世界 わが心の旅—セーヌ川・私を作った2人の女」制作・放送。
9月 パリ・三越エトワール美術館で海外展開催。
- 2003年 東京メトロ半蔵門開通を記念して、新四駅にアートレリーフを制作。
- 2007年 東京・上野の森美術館で「絵筆でつづる四半世紀展」を開催。
- 2010年 京都・清水寺成就院に「生命の無常と輝き」襖絵46枚を奉納。
5月 NHKクローズアップ現代「風の画家・中島潔 “いのち” を描く」制作・放送。
- 2011年 銀座松屋をかきわきりに、全国で「京都清水寺成就院奉納襖絵 風の画家中島潔が描く『生命の無常と輝き』展」を開催。
- 2015年3月 岡山・新見美術館で「中島潔 新しい風—希望 明日を生きる—」展を開催。
4月 京都・六道珍皇寺で「中島潔 地獄心音図完成特別公開」展を開催。
- 2016年7月 栃木・小杉放菴記念日光美術館で「中島潔 新しい風—希望 明日へ生きる—」展を開催。
- 2018年8月 長野・諏訪市原田泰治美術館で「中島潔 新しい風—故郷の四季—」展を開催。
- 2019年6月 東京・青梅市立美術館で「中島潔 新しい風—希望 明日へ生きる—」展を開催。

「京都六道珍皇寺 “心音図” 奉納記念 中島潔 “今” を生きる—そして伝えたいこと」展が全国巡回。

- 2015年8月 佐賀県立美術館
- 2016年1月 福岡・小倉井筒屋
- 2017年3月 奈良県立万葉文化館 7月 兵庫・丹波市立植野記念美術館 9月 富山県水墨美術館
- 2018年3月 大阪文化館・天保山
- 2020年7月 北海道立帯広美術館

「画業50周年 女性が輝く未来 ^{いっしょんかん}一瞬間の“煌めき” 中島潔 令和の心を女性に描く」展
2022年1月 佐賀県立美術館で開催中。

Nakashima Kiyoshi



「糸とんぼ」©中島潔

事業概要

事業名 / 第58回特別企画展 「中島潔絵画展 新しい風 四季の詩」

会期 / 令和4年2月4日（金）～3月27日（日）

場所 / 一支国博物館 1階 テーマ展示室

開館時間 / 8:45～17:00

休館日 / 毎週月曜日 ※月曜日が祝日の場合は翌火曜日が休館日

※3月14日（月）は特別開館日

展示品数 / 約40点

観覧料 / 一般600円、65歳以上500円（受付で年齢確認証提示）、小中高生300円、
未就学児無料、年間パス保持者無料、障がい者手帳保持者および介護者1名無料

主催 / 苓崎市立一支国博物館

共催 / 長崎新聞社

企画協力 / アトリエ・ウメ、アートカフェ

後援 / 苓崎市、苓崎市教育委員会、長崎県埋蔵文化財センター、苓崎市観光連盟

関連企画 オリジナルグッズ販売コーナー特設

ポストカード、クリアファイル、手ぬぐい、ぬいぐるみなど、
美しく、色彩豊かなアイテムが盛りだくさん！



このリリースに関する
お問い合わせ

配信停止などご要望がございましたら、お知らせ下さい。

苓崎市立一支国博物館
担当：広報 松嶋

〒811-5322
長崎県苓崎市芦辺町深江鶴亀触 515 番地 1
TEL：0920-45-2731 FAX：0920-45-2749
m.matsushima@iki-haku.jp

※ご入館の際は感染症拡大防止の取り組みにご協力ください。
※感染拡大の状況によっては、開館時間等が変更になる場合もございます。